

— 1 —

私は野球が大好きで父ちゃんに隠れて野球をしていました。小学校四年生の時父ちゃんはグローブを誕生日プレゼントに買ってきてくれました。私は学年で一番背が低くチビだったので野球をしらない父ちゃんが一番デカイグローブと思ったらしくキャッチャーミットを買ってくれました。それが最初で最後のプレゼントでした。私は仕方なく一学年下のチームに入ってキャッチャーをしました。でもそのミットは私の宝物でした！そのミットは結婚したらカビが生えていたので知らぬ間に女房に捨てられました。しかし沈黙という最高のプレゼントを頂きました！後は一番好きなピアノ協奏曲第二番聞きたい！

— 2 —

私はある時38度熱を出しました。すると軽井沢の父ちゃんから悪魔の電話が入りました。いまずぐ迎えに来いという電話でした！私は熱のあることを告げると俺はたぶん胃ガンだ、死ぬかもしれないからすぐ来いということでした。私は必死に軽井沢に車でたどりつきました。そこで父ちゃんはひとこと食い過ぎだったともうされました。

— 3 —

父ちゃんは最後までワガママで真剣でした。人生最後のライバルはなんと多加矢でした。いつも真剣に多加矢とテレビのチャンネル争いをしていました。また将棋のライバルでもありました！おかげで多加矢も今は将棋の段もちです

— 4 —

ある時父ちゃんと母ちゃんの部屋から大声が聞こえました。開けてみると二人で殴りあいのケンカをしていました。私は子供心に公平を期さなきゃいけないと思い女の母ちゃんには木のバットを男の父ちゃんにはプラスチックのバットを渡しました。すると父ちゃんはバットを振り回し母ちゃんは木のバットを持って冷静になってしまい父ちゃんの圧勝でした！しかし父ちゃんの手はしっかり母ちゃんの引っ掻きキズで血だらけでした。

— 5 —

中学二年生の時父ちゃんに馬乗りになって殴られました。父ちゃんは、ケンカは弱くプライドは高いのでそれまで一度も手をだした事はありませんでした。その日は馬乗りになってしつこくぜんぜんどここうとしないので下から殴ってしまいました。そしたら父ちゃんは極度に落ち込み部屋に駆け込み三日間出てきませんでした。もちろん三日間ともピアノの音はしませんでした。それから父ちゃんの暴力は終わりを告げました。そういえば父ちゃんと二人で飯を食いに行った記憶がないな！